

全国SLA学校図書館スーパーバイザー 藤田 利江 作成

課題図書 書名・著者・出版社・本体価格等	生徒向け紹介文	感想の視点と指導のポイント
<p>星の旅人 : 伊能忠敬と伝説の怪魚 小峰書店 小前亮／著 1,600円(本体価格)</p>	<p>50歳から日本を測量する旅に挑んだ伊能忠敬の生き方や考え方などを、父親を捜す平次を通して描く。崖から落ちて死亡したという父親のことが信じられず、伊能隊に加えてもらった平次は、未知の蝦夷の地でアイヌから予期しなかった父親の伝言を聞く。伊能忠敬の生い立ちや時代背景、測量技術の進化などの説明も入っている。</p>	<p>父親を捜す平次を通して、伊能忠敬が描かれている物語は、視点が変わっていて面白さもある。日本地図を作成するための苦労や、忠敬の性格や考え方が伝わってくる。話は平次の父親の意外な真実に展開する。時代背景や測量の技術なども考慮して読み深めたい作品である。</p>
<p>ある晴れた夏の朝 偕成社 小手鞠るい／著 1,400円(本体価格)</p>	<p>ケン、ナオミら8人の生徒が広島と長崎に落とされた原爆について議論をし合う。原爆による被害だけでなく、なぜ原爆が落とされることになったのか、当時の状況、人々の思いなど、8人の弁士がそれぞれ調査したことや当時を推測しながら議論が進む。戦争を様々な視点から分析していて、考えさせられることが多い本となるだろう。</p>	<p>肯定派のケンたちに対して、否定派のメイは必死にその根拠を語る。ディベートを通して原爆の是非が語られるが、戦争の深層部に触れながら、歴史を振り返ったり、人々の置かれた状況を考えたりする機会となるだろう。その場に居た人々の気持ちになって原爆を考えたいものである。</p>
<p>サイド・トラック : 走るのニガテなぼくのランニング日記 評論社 ダイアナ・ハーモン・アシャー／作 1,600円(本体価格)</p>	<p>ジョセフはADDで、人とはちょっと違った行動をとってしまうことが多い。ひよんなことからジョセフは陸上クラブに入会することに。何とか練習には参加したが、頑張り過ぎてしまい、自分の調整ができない。スタートのピストルの音にも異常に反応してしまうジョセフ。様々な課題をヘザーやおじいちゃんなどの応援を得ながら克服していく。</p>	<p>ジョセフを通して様々な感じ方や考え方をしている人があることを理解することだろう。ジョセフが自分の課題をひとつひとつ克服していく様子を思わず応援したくなる。ヘザーやおじいちゃんの考えや行動にも注目して、それぞれの気持ちや変化を掴みたい作品である。</p>